**特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」**

**車いすバスケットボール競技実施要領**

１　競技規則

　　令和５（２０２３）年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか，同年度の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則及びこの要領の定めるところによる。

２　チーム

⑴　チームの構成は，コーチ１名，アシスタントコーチ１名，マネージャー１名及び選手１２名以内とする。ここでいうコーチとは，ゲーム中，実際にチームを指揮する者を指す。

⑵　コーチ，アシスタントコーチ又はマネージャーが選手を兼ねる場合は，選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合，選手の数は，選手を兼ねるコーチ，アシスタントコーチ，マネージャーを含めて１２名以内とする。

⑶　男女混合のチーム構成も可とする。

なお，　女子選手が大会に出場する場合には，コート内（５人）のプレーヤーの持ち点合計より女子選手１人につき１．５点を減算する。ただし，コート内でプレーする女子選手の減算は２人までに適用する。

３　競技方法

⑴　試合は，トーナメント方式とし，３位決定戦を実施する。また，トーナメント戦以外に，交流戦を実施する。

⑵　トーナメント戦は，１０分クォーターを４回行うものとし，第４クォーターが終わったときに得点が同点だった場合，１回５分間のオーバータイムを決着がつくまで必要な回数行う。第１クォーターと第２クォーターの間，第３クォーターと第４クォーターの間，及び各オーバータイムの間にそれぞれ２分のインターバルをおく。第２クォーターと第３クォーターの間に１０分のハーフタイムをおく。

⑶　交流戦は，１０分のクォーターを２回行うものとし，第１クォーターと第２クォーターの間に２分のインターバルをおく。第２クォーターには，一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟競技規則の第４クォーターのルールを適用する。ただし，第２クォーター終了時に同点の場合は勝敗を決しない。

４　服装等

⑴　出場選手は，濃色と淡色（白色が望ましい）の２種類のユニフォームを用意し，原則として組合せ番号の若いチームが淡色（白色が望ましい）のユニフォームを着用すること。ただし，２試合目以降については，両チームの協議により，ユニフォームの色の濃淡を変更することができる。

⑵　背番号は，０，００及び１から９９までの番号を使用し，審判とスコアラーにはっきりと分かるように付けること。

５　試合球

　試合球は，公益財団法人日本バスケットボール協会検定７号球（モルテンＢ７Ｇ５０００）とし，主催者が用意する。

６　組合せ

　組合せは，令和５（２０２３）年７～８月に開催するプログラム編成会議において，主催者が関係者立会いの下に代理抽選を行い，決定する。

７　開始式・表彰式

1. 開始式は，競技開始前に競技会場で行う。
2. 表彰式は，競技終了後に競技会場で行う。

８　出場選手の持ち点の確認及び競技用車いすの検査

　出場選手は，大会当日までに一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟発行の「選手登録証及び持ち点カード」又は「仮カード」により，補装具等の確認を受けるとともに，競技用車いすの検査を受けること。

９　チーム・ベンチ

チーム・ベンチは，組合せ表の番号が若いチームをオフィシャル・テーブルに向かって右側とする。

10　その他

⑴　監督会議は令和５（２０２３）年１０月２７日（金）に行う。なお，監督会議の時間及び場所については別途通知する。

⑵　開始式，表彰式に参加する選手は，原則として，ユニフォーム又はジャージのいずれかをチームで統一して着用のうえ，競技用車いすで参加すること。

⑶　競技場内には，チーム・ベンチ・エリアに入る者のほか，主催者が認めた者以外は入ることができない。ただし，車いす使用者及びその介助者等は，指定された場所で観覧及び応援することができる。

⑷　チームスタッフ３名とは別にトレーナーを帯同しているチームは，決められた位置に１名待機させることができる。なお，トレーナーは参加申込時に登録したものに限る。このトレーナーは，実際に施術ができる者とし，公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

⑸　会場内の秩序については，競技役員の指示に従うこと。

⑹　練習は定められた場所で安全に留意し，主催者の指示に従って行うものとする。

⑺　荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは，主催者において別途決定する。